

2017年度

■ 授業題目

計算機数学

■ 申請コード

75116

■ 単位数

2

■ 授業種別

講義

■ 履修開始年次

2

■ 履修期間

第1学期

■ 時間割

金3

■ 区分等

平成16年度以降入学生

専門教育) 専門科目

■ ナンバリングコード1

■ ナンバリングコード2

■ ナンバリングコード3

■ ナンバリングコード4

■ ナンバリングコード5

■ ナンバリングコード6

■ ナンバリングコード7

■ ナンバリングコード8

■ 地域関連科目区分

■ COC+Phase

■ 履修における注意点

平成18年度以前入学生は「計算機数学」に読み替える

■ 資格等

教免ー中学校・高校(数学) : コンピュータ

■ 副題

【テーマ(日本語)】

LaTeX, 数式処理

【テーマ(英語)】

LaTeX and computer algebra system

担当教員

| 担当教員名 | 所属 | 電話番号 | E-Mail |
|-------|-----|------|--------|
| 土基 善文 | 理学部 | 非公開 | 非公開 |

オフィスアワー

火曜日と金曜日の 10:40から11:30.
予約がある方が望ましい。

学生相談場所

513土基研究室または学生控室

履修希望学生に求めるもの

第1回目から、ノートパソコンを使用するので、調子が悪い場合には修理に出すなど、使えるように準備

教員相互参観授業公開日程

【公開できる週】

全て公開しない

【コメント】

備考

キーワード

LaTeX,数式処理,maxima,ruby

カリキュラムチェックリスト

【授業科目の主題(箇条書)】

数式を含んだ文書を作成するシステム LaTeX の利用法についての理解する

【授業科目の到達目標とカリキュラムチェックリスト】

| 授業科目の到達目標 | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度等 |
|--|-------|-------|-------|-----|
| 1. LaTeX を用いて、授業のレポートのような数式を含んだ簡単な文書が作成できるようになる。 | ◎ | | ◎ | ◎ |

■ 授業全体の概要

latex を用いて数学の論文等を書けるようになることが第一である。数式処理やスクリプト言語についても少しだけ触れる。

■ 授業時間外の学習

PC に慣れ親しみ、与えられたレポートに対してメールで返信する等のスキルを日頃から身につけること。

■ 授業計画

| | | |
|-----|---------|-------------------------|
| 第1回 | 授業概要 | ソフトウェアのインストールや基本事項の解説 |
| | 授業時間外学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第2回 | 授業概要 | ソフトウェアのインストールや基本事項の解説 |
| | 授業時間外学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第3回 | 授業概要 | LaTEXの基本 |

| | | |
|-----|-------------|-------------------------|
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第4回 | 授業概要 | LaTEXの基本 数式処理その1 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第5回 | 授業概要 | 数式の入力 数式処理その2 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第6回 | 授業概要 | 数式の入力 数式処理その3 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第7回 | 授業概要 | より複雑な数式の入力 |
| | 授業時間外 学習 | 次回の授業の予習 |
| 第8回 | 授業概要 | より複雑な数式の入力 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第9回 | 授業概要 | 文書の整形 |

| | | |
|------|-------------|--------------------------|
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第10回 | 授業概要 | 文書の整形 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第11回 | 授業概要 | LaTEXによる文書の作成 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第12回 | 授業概要 | LaTEXによる文書の作成 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第13回 | 授業概要 | LaTEXによるプレゼンテーションスライドの作成 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第14回 | 授業概要 | LaTEXによるプレゼンテーションスライドの作成 |
| | 授業時間外 学習 | 授業の内容の復習（次回も使うことになるので。） |
| 第15回 | 授業概要 | LaTEXによるプレゼンテーションスライドの作成 |

■ 関連科目名、関連科目コード番号

■ 教科書・参考書

LaTeXについては教科書として、LaTeX2e 美文書作成入門, 奥村晴彦, 技術評論社を使用する(必携)。また、実習用のプリントを配布する。

■ Webテキスト (URL)

<http://www.math.kochi-u.ac.jp/docky/kogi/>

■ Webテキスト (説明)

講義用プリントの他、必要ソフトウェア(フリー),有用なページへのリンクなどが準備される予定である。

■ 成績評価の方法

授業で行なう実習への取り組みと到達度で総合的に評価する(100%)。

■ パソコン必要度

授業中に必要(毎回必要、但書無し)

【コメント】

最初の授業からパソコンを利用するので、必ず持ってくること。